

令和 8 年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第 I 期入学試験（一般・社会人入試）

令和 7 年 10 月 4 日（土）実施

科 目 名
人 文 地 理 学

受 験 番 号	氏 名

地理学専攻

- 第1問

以下の用語群の中から 5 つの用語を選択して、それぞれの語句について説明しなさい。

—
- 機能地域 円積図 モビリティ 散村 ジェントリフィケーション 遊牧

—
- 華僑 水平分業 緩衝国 ファベラ 民族島 EU コンパクトシティ

—

- 第2問

日本の第 2 次大戦後における東京圏、名古屋圏、大阪圏の三大都市圏とその他の地方間の人口移動の変化について記しなさい。なお、「人口転換」、「プッシュ要因」、「プル要因」という用語を必ず用いること。

—
- —

裏面を使用する場合は、こちら側を上に戻して解答すること

採 点	
--------	--

令和 8 年 2 月 21 日 (土) 実施

科 目 名
人 文 地 理 学

受 験 番 号	氏 名

地理学専攻

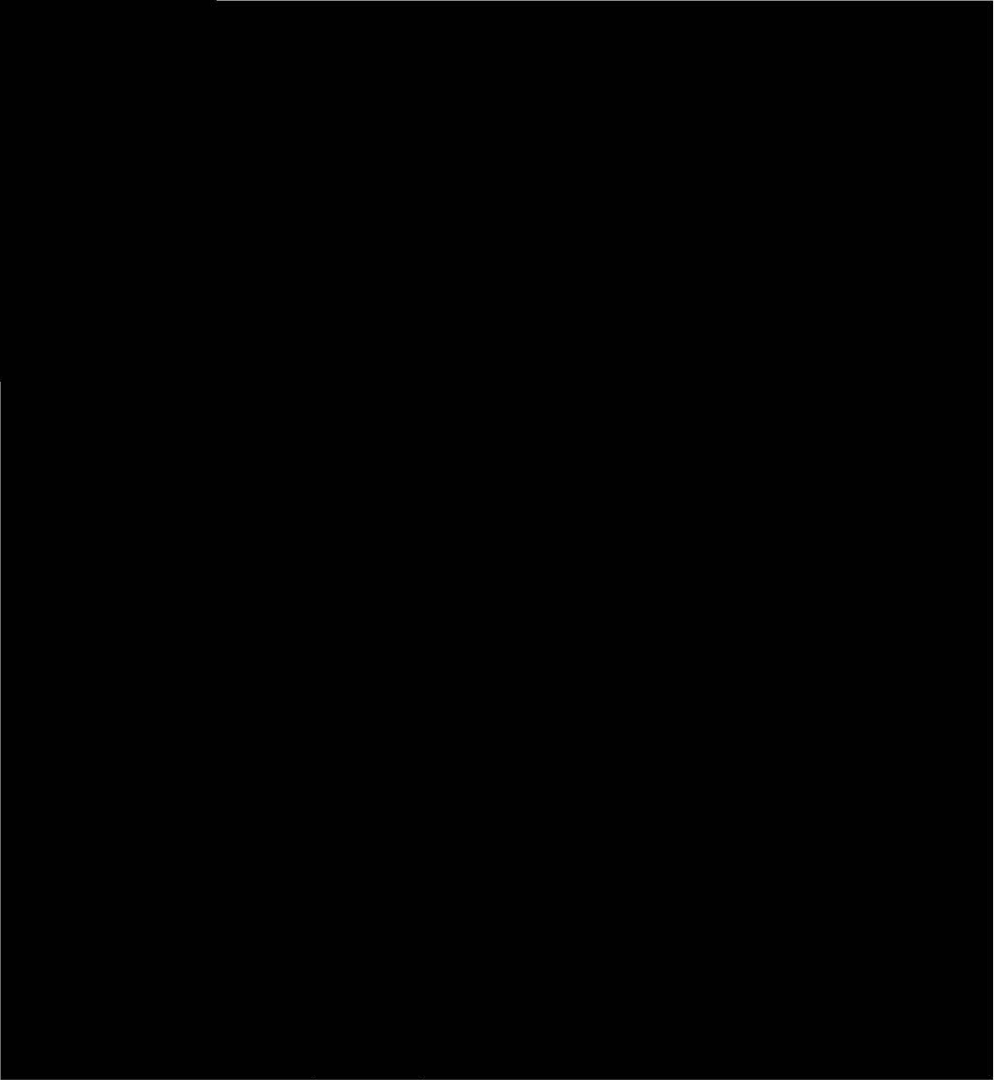
【解答は別紙解答用紙へ】

設問 次の1と2に答えなさい。1、2それぞれについて、選択したのが(1)と(2)のどちらであるかをまず記したうえで、答えてください。

1. (1) Alonso model : Concentric land-use zones generated by the bid-rent curves for retailing, industrial and residential land use または (2) Burgess's zonal model のいずれか一方を任意に選択し、モデルが主張する都市内部の地域構造・土地利用を説明しなさい。
2. (1) 図3 (Richard Peet の図) または (2) 図4 (Chris Philo の図の日本語訳) のいずれか一方を任意に選択し、図が主張する人文地理学の歩みと諸潮流を説明しなさい。



(1) Alonso model



(2) Burgess's zonal model

令和 8 年 2 月 21 日 (土) 実施

科 目 名
人 文 地 理 学

受 験 番 号	氏 名

地理学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

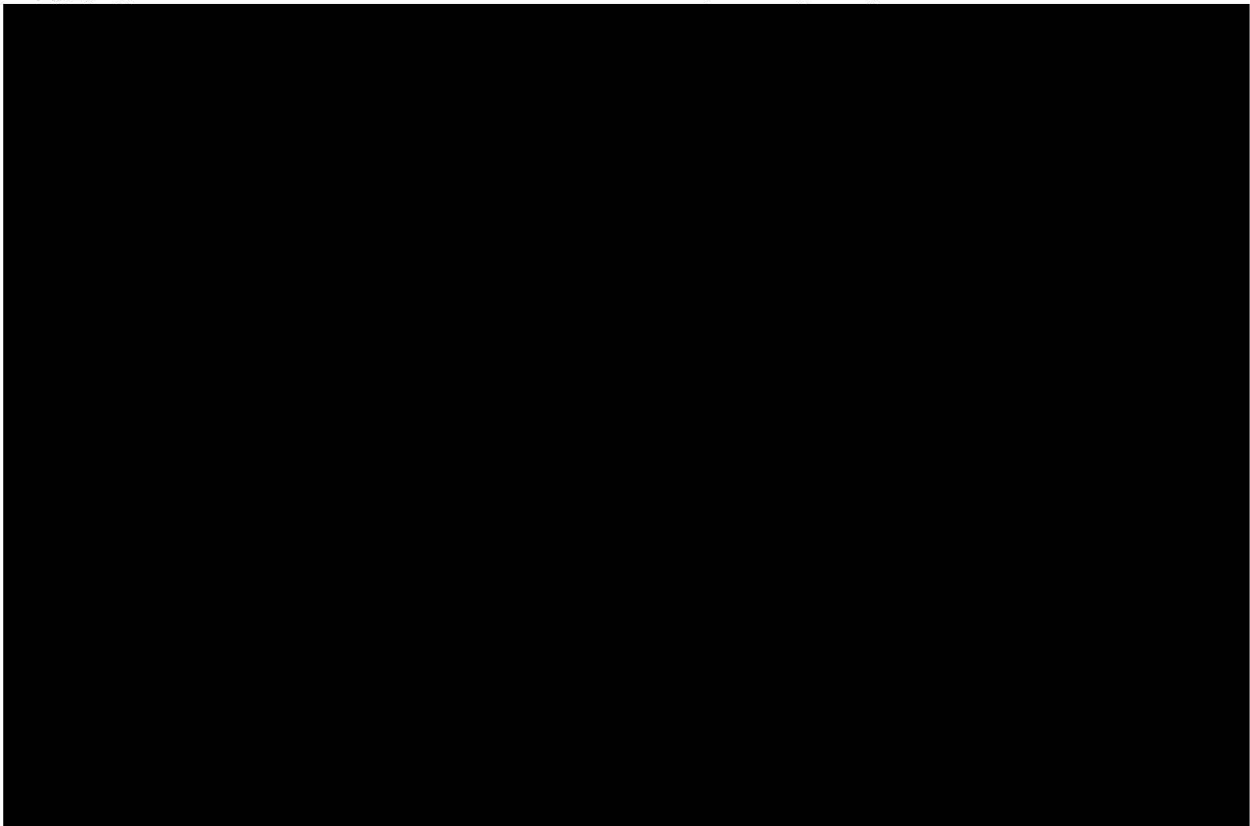


図 3 地理学の研究方法の変化
出典：Richard Peet 1998。

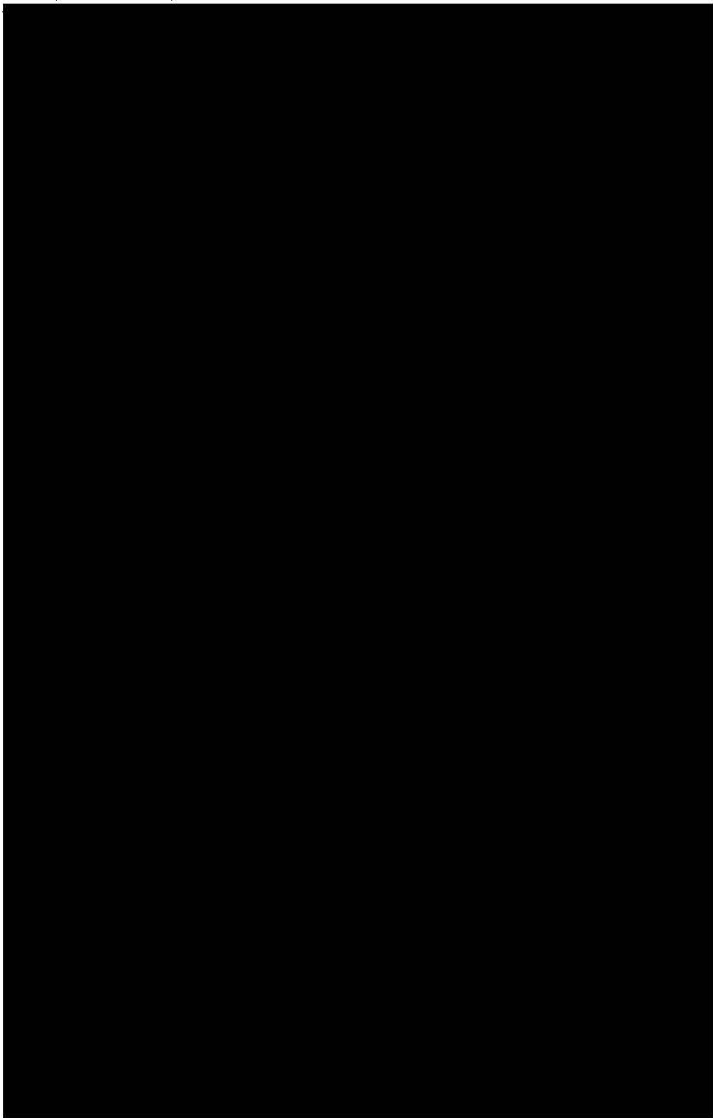


図 4 変化する人文地理学の手法・方法論 (Chris Philo, 2008による)

令和 7 年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第 I 期入学試験 (一般・社会人入試)

令和 6 年 10 月 5 日 (土) 実施

科 目 名
人 文 地 理 学

受 験 番 号	氏 名

地理学専攻

I. チューネンの孤立国についてその内容を説明しなさい。とくにチューネンが述べた地域分化が生じる理由については、詳細に説明すること。なお略図を描いて説明に用いてもよい。

【解答欄】

II. 「産業立地」「都市再開発」「過疎化」などのテーマを自由に一つ選び、近年の人文地理学における研究動向について述べなさい。具体的な調査・研究の事例、研究者名などを挙げながら論じること。

【解答欄】

令和 7 年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (一般・社会人入試)

令和 7 年 2 月 15 日 (土) 実施

科 目 名
人 文 地 理 学

受 験 番 号	氏 名

地理学専攻

- (1) 次の語句から 5 つを選び、意味するところを説明してください。
- 「定期市」「伊能図」「タウンシップ」「田園都市」「チューネンの孤立国」「コーホート分析」
- 「地籍図」「宗門改帳」「ジェントリフィケーション」
- (2) 日本の城下町に関する地理学的研究について具体的な事例を挙げるとともに、研究課題や展望を述べてください。

【解答欄】

裏面を使用する場合は、こちら側を上に戻して解答すること

採 点	
--------	--

令和6年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅰ期入学試験（一般・社会人入試）

令和 5 年 9 月 30 日 (土) 実施

科 目 名
人 文 地 理 学

受 験 番 号	氏 名

地理学専攻

1. 「散村」「御師集落」「城下町」「移牧」「形式地域」「ウェーバーの工業立地論」「メンタルマップ」「インナーシティ」「エスニシティ」「道州制」のなかから5つの用語を選び、それぞれについて説明してください。

2. 近代日本の温泉観光地に関する地理学的な研究について具体的な事例を挙げるとともに、研究課題や展望について述べてください。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

裏面を使用する場合は、こちら側を上に戻して解答すること

採 点	
--------	--

令和 6 年 2 月 17 日 (土) 実施

科 目 名
人 文 地 理 学

受 験 番 号	氏 名

地理学専攻

第1問 次の語句から 3 つの語句を選択し、それぞれの語句について説明しなさい。

メルカトル図法 城下町 人口転換 プランテーション 緩衝国 言語島
地場産業 創造都市 ルーラル・ジェントリフィケーション 近接性

第2問 航空機などの交通手段やインターネットなどの通信技術の発達で、世界や日本に多様な文化で存在してきた文化を均質化・標準化させるという見解がある一方で、多様な文化の維持・強化に貢献するという見方もある。交通手段や通信技術が文化の均質化をもたらすのか、文化の多様性を強化するのか、どちらかの立場に立って論じなさい。

裏面を使用する場合は、こちら側を上に戻して解答すること

採 点	
--------	--

令和 7 年 10 月 4 日（土） 実施

科 目 名
自然地理学

受験番号	氏 名

地理学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

下図は、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）第 6 次評価報告書の第 1 作業部会報告書（以下、AR6 WG1）「気候変動 2021 自然科学的根拠」の解説資料から抜粋した図（一部加筆）である。図を見ながら、以下の(1)～(3)の問いに答えなさい。解答は別紙の解答用紙に記入すること。

- (1) 図から分かることを簡潔に説明しなさい。ただし、棒グラフの背景の陰影に関しては解答の対象外とする。
- (2) 図のような変化が進んだ場合、自然環境にはどのような変化が生じると考えられるか。具体的な地域を一つ挙げて、現在の自然環境（気候、地形、生態系）の特徴を述べた上で説明しなさい。
- (3) 図のような変化が進んだ場合、自然災害の発生頻度や強度はどのように変化すると考えられるか。(2)で挙げた地域を例に説明しなさい。

注) 気候影響駆動要因とは、社会又は生態系に直接影響を与える物理的な気候条件で、長期にわたる平均的な状態（屋内の暖房の必要性に影響を与える冬季の平均気温など）、一般的な事象（暖かい季節の植物を枯らす霜など）、又は極端事象（家屋を破壊する沿岸域の氾濫など）等を表す。



図. 気候影響駆動要因の増加又は減少が予測される(a)陸域と沿岸地域及び(b)外洋地域の数に関する統合的評価
ここでの地域は、右図の AR6 WG1 参照地域を指す。左図上部の「暑熱と寒冷」、「湿潤と乾燥」、「沿岸」、「外洋」は、気候影響駆動要因の種類で、その下にある語句（平均気温など）が気候影響駆動要因を指す。棒グラフの濃い灰色は、増加または減少の「確信度が高い」地域数を、薄い灰色は「確信度が中程度」の地域数を表す。軸ラベルの矢印と文字を加筆した

注) 確信度とは、知見の妥当性を示す定性的な尺度（証拠と見解一致度に基づく）を意味する。

出典：文部科学省及び気象庁. IPCC（気候変動に関する政府間パネル）第 6 次評価報告書（AR6）第 1 作業部会 (WG1) 報告書「気候変動 2021 自然科学的根拠」解説資料（基礎編）より

専修大学大学院 文学研究科 入学試験解答用紙 (修士課程 一般・社会人入試)

令和 7 年 10 月 4 日 (土) 実施

科 目 名
自然地理学

受験番号	氏名

地理学専攻

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

裏面を使用する場合は、こちら側を上に戻して解答すること

採 点	
--------	--

令和 8 年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (一般・社会人入試)

令和 8 年 2 月 21 日 (土) 実施

科 目 名
自 然 地 理 学

受 験 番 号	氏 名

地理学専攻

1. 以下の中から 3 つを選び、それぞれ 200 字程度で説明しなさい。
- 緑地の熱環境緩和効果 マスムーブメント地形 航空レーザー測量 山谷風 山岳氷河の変動
生態系の攪乱 完新世 大気海洋相互作用 火山災害 偽高山帯 近接リモートセンシング
2. 日本列島は、中緯度の大陸東縁に位置して広大な海洋に面し、複数のプレート境界に沿って南北に延びる弧状列島である。このことと関連付けて、日本の自然の特徴を 500 字程度で述べよ。

【解答欄】

裏面を使用する場合はこちら側を上に戻して解答すること

採	
点	

令和 7 年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第 I 期入学試験 (一般・社会人入試)

令和 6 年 10 月 5 日 (土) 実施

科 目 名
自 然 地 理 学

受 験 番 号	氏 名

地理学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

自然地理学に関連した次の専門用語や項目から 3 つを選び、それぞれについて、詳しく説明しなさい。解答の順序は問わないが、どの用語や項目の説明かわかるように見出しをつけること。

- ・異なる地図投影法による表現の注意点
- ・台風の移動経路と大気循環 ・WebGIS ・氷期と海水準低下 ・LiDAR 測量
- ・リモートセンシングと植生変化 ・地球温暖化と極端気象
- ・都市 3D データ PLATEAU ・OpenStreetMap

令和7年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (一般・社会人入試)

令和7年2月15日(土) 実施

科 目 名
自然地理学

受験番号	氏 名

地理学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

日本の地方(①北海道、②東北、③関東、④中部、⑤近畿、⑥中国、⑦四国、⑧九州、⑨南西諸島)から1つを選び、その地方の有する自然地理学的な特性や特徴を述べなさい。自然地理学的な特性や特徴の対象として、(あ)地形・地質、(い)気候、(う)生物、及びそれらの関連事項とする。解答にあたり、必要に応じて自作の図や表を示してもよい。用紙が不足する場合は、裏面を使用すること(その旨を明記すること)。

令和 5 年 9 月 30 日 (土) 実施

科 目 名
自然地理学

受験番号	氏 名

地理学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

下図は、日本の気候区分の一例である。図を見ながら、以下の(1)～(3)の問いに答えなさい。
解答は別紙の解答用紙に記述すること。

- (1) 各気候区の特徴を簡潔に述べよ。そのうえで、日本の気候が下図のように区分される理由について、気候因子を 3 つ以上挙げて説明せよ。
- (2) 下図から気候区を一つ選択し、その気候区における地形、植生、発生頻度の高い自然災害について具体的な例を挙げながら説明せよ。そのような特徴がみられる理由も述べること。
- (3) 日本以外の国を一つ挙げ、その国の気候区分と自然地理学的な特徴との関係について、あなたの知るところを具体的に説明せよ。

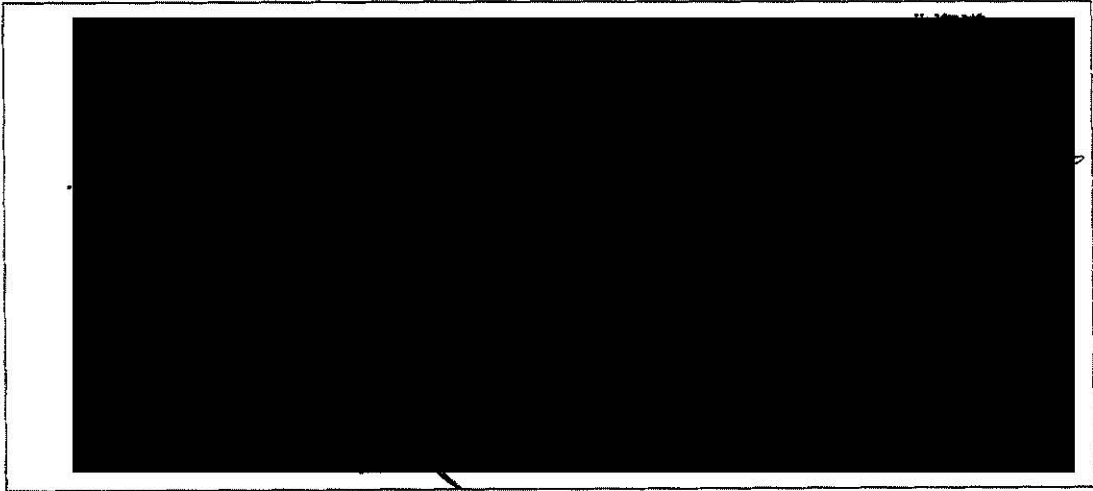


図. 日本の気候区分
矢野恒太記念会編『日本国勢図会 2023/24』より

令和 6 年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (一般・社会人入試)

令和 6 年 2 月 17 日 (土) 実施

科 目 名
自 然 地 理 学

受 験 番 号	氏 名

地理学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

最近 100 年程度または 10 年程度で生じている自然環境（地形，気候，陸水・海洋，土壌，生物分布など）の変化現象のうち，人為的な要因の影響を受けている現象を 2 つ取り上げ，以下について述べなさい。

- ① その現象の具体的な内容
- ② その現象が顕著に生じている地域
- ③ そのような現象が生じるメカニズム
- ④ その現象がもたらす社会的な影響

令和 8 年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第 I 期入学試験（一般・社会人入試）

令和 7 年 10 月 4 日（土）実施

科 目 名
地域システム論（地誌学）

受 験 番 号	氏 名

地理学専攻

1. 地域システムを説明した上で、地域システムに関する近年の研究動向について述べな
さい。

2. クリスタラー・モデルを説明した上で、それを援用した研究の一例である近世中国の
定期市に関するスキナー・モデルについて述べなさい。

裏面を使用する場合は、こちら側を上に戻して解答すること

採 点	
--------	--

令和 8 年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (一般・社会人入試)

令和 8 年 2 月 21 日 (土) 実施

科 目 名
地域システム論 (地誌学)

受 験 番 号	氏 名

地理学専攻

都市の領域をどのように画定することができるのか、都市の定義を示した上で、「行政市」、「DID」、「都市圏」という用語を全て用いて記しなさい。

【解答欄】

裏面を使用する場合は、こちら側を上に戻して解答すること

採 点	
--------	--

令和 6 年 10 月 5 日 (土) 実施

科 目 名
地域システム論 (地誌学)

受 験 番 号	氏 名

地理学専攻

2-1

【解答は別紙解答用紙へ】

次の A, B, C の 3 書籍の目次を和訳すると、(A)(B)(C)のようになる。(1) A, B, C の 3 書籍の主題をそれぞれ 1~2 行で簡略に説明しなさい。(2) (A)(B)(C)を手がかりにして、それぞれの書物が採用している主題へのアプローチの仕方・特色を述べなさい。

A Claudia J.Carr, 1977, *Pastoralism in Crisis. The Dasanetch and their Ethiopian Lands*. (シカゴ大学地理学科研究論文 no. 180)シカゴ大学地理学科 『危機の中の牧畜。Dasanetch 族とエチオピア(南西部) の彼らの土地』

B J.V.Thirgood, 1987, *Cyprus: A chronicle of its forests, land, and people*. ブリティッシュコロンビア大学出版局 『キプロス：その森林、土地、人々の年代記』

C T. P. Bayliss-Smith, Richard Bedford, Harold Brookfield and Marc Latham, 1988, *Islands, Islanders and the World: The colonial and post-colonial experience of eastern Fiji*. ケンブリッジ大学出版局 『島々、島民、世界：フィジー東部地域の植民地期と植民地以後の経験』

- (A)
- 1. システムの概観
 - 一つのシステムとしての社会と環境との関係
 - Dasanetch の人々とその環境の概観
 - Dasanetch の土地における最近の政治史
 - 2. Dasanetch 族の放牧地の環境
 - 東部アフリカの放牧地の概観
 - Lower Omo (低 Omo) 盆地の地形と気候
 - 植生と主要因子
 - 自然平原と劣化が進行する平原の群落の研究
 - 要約と現在の放牧地の状態
 - 3. Dasanetch 族の河川環境
 - 序
 - Omo 川
 - 現在のデルタ
 - Kolon 河道と Il Nakwa(Kibish 川)
 - Dasanetch 族にとっての河川環境の変化の意味
 - 4. Dasanetch 族の社会関係の概観
 - 家畜(牛)の役割
 - 部族の分節状況
 - Dasanetch 族の言語
 - 半族・部族・年齢集団の関係
 - 結婚と嫁入り道具
 - 村の社会組織
 - 法や政治の仕組み
 - 部族の分節(部族の下部単位)群の関係
 - 議論と総括
 - 5. Dasanetch の生産様式と生産物の利用
 - 序
 - 様々な生産：ヴァリエーションの幅
 - 生産諸力
 - Dasanetch の伝統的な生産単位
 - 家畜飼育：主要な生産部門
 - 家畜飼育に代替する自給生産
 - 園芸／漁撈／採集／狩猟
 - 季節移動と集落
 - 生産の目標(到達点)、富、余剰
 - 交換(経済)の関係における社会経済的相互作用
 - 6. システムの展開と生産方式の概念(考え方)
 - システムの全体的特徴
 - 時間軸の中での S/E(環境・社会)システム
 - 1 システムのオーバーレイ：生産方式の概念(考え方)
 - システム変化の諸力と変化への抵抗：ポジティブなフィードバックとネガティブなフィードバック
 - 7. 近年のシステムの変化と解決策の構築
 - 序
 - Dasanetch の S/E(環境・社会)システムに対する主たる 2 つの変化の投入：領域の制約と湖の水位の変化
 - 生産の多様化：システム内の(内で完結する)解決方法？
 - システムの変化と生産方式の概念(考え方)
 - 要約：Dasanetch の土地と社会経済の現在の状態
 - Dasanetch の S/E(環境・社会)システムの不安定の部分的解決と完全な解決の方法

(問題文は次頁に続く)

令和 6 年 10 月 5 日 (土) 実施

科 目 名
地域システム論 (地誌学)

受 験 番 号	氏 名

地理学専攻

2-2

【解答は別紙解答用紙へ】

- (B)
- 第一部 キプロスの基礎的条件
1. 歴史的視角
 2. 島の概説
 3. 住民と経済
 4. 1878 年以前のキプロスの森林史
 5. 1878 年における森林
- 第二部 イギリスの占領下の森林の展開
6. 初期の 1878-85 年のころ：最初の仕事、推薦、計画
 7. 森林行政にとっての土台を据え、インフラを創る 1886-1921 年
 8. 技術的発展を加速する 1922-60 年
 9. 山地の森林の保護政策の結果：イギリス占領末期のキプロスの森林
- 第三部 エピローグ
10. 共和国制下の森林の 25 年
- (C)
- 前文：「人間と生物圏」プログラムと東部フィジープロジェクト
1. 島々、島民、事件(出来事)の研究について
プロローグ
東部の島々
自らへの問い
結論
 2. 島の景観
先史地理を再構成する
島の人口：平衡状態あるいは危機？
先史地理の 3000 年
安定した生態系？
変化している海岸線
後退している(縮小している)森林
蓄積する沼沢
劣化した景観の政治経済学
 3. 周辺部における資本主義と植民地主義
フィジーにおける資本主義：起源
不均等な空間的インパクト
初期植民地時代における生産と再生産
法・規則を変更する 1990-12 年
小作農民(小農民階級)の確立
連続性・継続性があてにならない 1930-60 年
後期植民地時代：土地を自由化する
 4. 物理的・経済的外部性(外部効果)とその影響
外部性の(直接の関係を有さない)物理的諸力
経済的起源の外部性の諸力
 5. 変化下にある社会における脆弱性
脆弱な非マルクス主義政治経済にむかう
脆弱性の進展：Taveuni の事例
どの集団が最も脆弱か？
結論
 6. 過剰に甘やかされた周辺部？
意識をあやつる：プランニングのレトリックの寄与
災害への対応
人口減少と人口の増加
結論
 7. 適応化する村々：Batiki と Kabara
5 つの島に所在する村々
Batiki/Kabara
結論
 8. 適応又は停滞：Koro の事例
Koro：永続的な見込みがある島
島嶼経済：Nacamaki
市場の法制化
結論
 9. 変化の(変化した)村：Taveuni と Lakeba
Taveuni/Lakeba
結論：富農層(上層農民)と無産階級に向かって
 10. 島の周辺部のための地域発展
諸問題と諸矛盾
東部フィジーと自由市場(青空市場)
プランニングの境界条件(対象地・非対象地を分ける条件)
変化に向けたプロジェクト(企画)
輸出に基づく発展に対する疑問
輸送の拘束・束縛を緩和する
議論のより広範な意味
 11. 島の諸研究と地理学
地理学における島々
島民の時間地理学
島々の合理的な管理
- 付録：UNESCO/UNFPA の東部フィジープロジェクトの出版物・報告書

令和 7 年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第Ⅱ期入学試験 (一般・社会人入試)

令和 7 年 2 月 15 日 (土) 実施

科 目 名
地域システム論 (地誌学)

受験番号	氏 名

地理学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

問題 1 ヨーロッパ各地で使用されている言語は、その多くがゲルマン語派、ラテン語派、スラブ語派のいずれかに属する。またヨーロッパ各地で信仰されている宗教については、キリスト教のプロテスタント、カトリック、正教が主なものである。これをふまえて、ヨーロッパ各国における、最も多くの国民に使用されている言語が属する語派と、最も多くの国民に信仰されている宗派の組み合わせを、人口の多い国を中心に、できるだけ多くの国について説明しなさい。

問題 2 20 世紀後半から現在にかけての日本国内の人口移動が、日本の各地域をどのように変容させたかを説明しなさい。その際、「大都市圏と非大都市圏」、「大都市圏内の都心と郊外」の対比についてはとくに重点的に述べること。

令和 6 年度 専修大学大学院 文学研究科 修士課程第 I 期入学試験 (一般・社会人入試)

令和 5 年 9 月 30 日 (土) 実施

科 目 名
地域システム論 (地誌学)

受 験 番 号	氏 名

地理学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

1. システムとは何か定義づけたうえで、地域をシステムとして捉える方法と意義について述べなさい。
2. 世界や日本における特定の領域を具体的に一つ取り上げて、地域システムとしてその領域を捉えて記述しなさい。

令和 6 年 2 月 17 日 (土) 実施

科 目 名
地域システム論 (地誌学)

受験番号	氏 名

地理学専攻

【解答は別紙解答用紙へ】

1. 地理学において「地域システム」の言葉は、一義的に定まった用語ではない。地理学史を紐解くと、1960年代半ばまでに少なくとも2つの異なる研究群を「地域システム」に関する研究とすることができる。
- ひとつは、地球の表面が大小の地域群の集合によって成り立っていることを示し、具体的に大小の地域群の規模や境界線や働きを明らかにする研究群である (A)。
- もうひとつは、site の研究と対比して situation の研究と称される研究群である。これはその後「空間的相互作用」の研究とも呼ばれている (B)。
- (A) (B) のいずれか一方を選択して、その「地域システム」の説明と具体的な研究例の紹介をなさい。
2. 下の「都市システムと空間スケール」の図 (森川洋 1982) を解説しなさい。

